

心理・健康ゼミナールI

2 units (compulsory) 3rd-year(1st semester)

tepei yukizane · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF HUMAN SCIENCES

Target) スポーツは今や生活のいたるところに存在し、身近なものになってきました。しかし、定期的・継続的にスポーツを行っている人は意外と少なく、また、女性や高齢者、障害を持った方々など対象によっては、その環境はもっと深刻です。スポーツを「みんなが楽しめる文化」として普及・振興していくために何が必要なのか。このゼミでは、スポーツの供給側(スポーツ行政、学校運動部活動、公共スポーツ施設、民間スポーツ施設、スポーツ指導者など)や、需要側(住民、生徒・児童、会員、高齢者、障害者など)に関わる様々な問題点を考え、それを解決していく方策を検討していきます。

Outline) スポーツに関わる諸問題に対し、スポーツ経営学的視点をよりどころに、理論と実践を通して、そのアプローチを自分自身で考え、解決する能力を身につける。その成果は、卒業論文としてまとめる。

Keyword) スポーツマネジメント、スポーツの普及振興

Fundamental Lecture) “スポーツマネジメント論”(1.0), “レジャーマーケティング論”(1.0), “スポーツ社会学”(1.0)

Notice) 後期開講の「心理・健康ゼミナールII」もあわせて履修すること。

Goal)

1. スポーツの普及・振興に関する問題の把握(テーマ設定)
2. 各自、興味関心のあるテーマに関する文献収集(先行研究の収集)
3. 社会調査に関する知識とデータ分析方法の習得(分析技術の習得)
4. 卒論テーマに即した調査実施、及びプレゼンテーション(実践・分析・発表)

Schedule)

1. オリエンテーション
2. スポーツ経営学領野の研究紹介1
3. スポーツ経営学領野の研究紹介2
4. スポーツ経営学領野の研究紹介3
5. スポーツ経営学領野の研究紹介4
6. 文献調査1
7. 文献調査2
8. 文献調査3
9. 文献調査4
10. フィールド調査1
11. フィールド調査2
12. フィールド調査3

13. フィールド調査4

14. プレゼンに向けた議論1

15. プレゼンに向けた議論2

16. プレゼンテーション

Evaluation Criteria) 評価方法は「出席50%」「態度20%」「プレゼンテーション30%」といった3視点での総合評価。

Re-evaluation) なし

Textbook) なし。各自の問題意識に応じた文献を適宜紹介していく。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220179>

Contact)

⇒ yukizane (sport management laboratory, +81-88-656-7286, yukizane@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 毎週木曜日夕方)